



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第47号
令和4年 3月11日

6年生 みんなちがってみんないい②

～ミュタントウェーブさんとジェンダーについて学ぼう！～

子供たちは、学習後の振り返りで、自由にタイトルを決めて、自由に感想文を書きました。全部を紹介したいのですが、紙面の都合上、その中のいくつかを紹介します。※抜粋

【みんなのちがい】

「みんなちがってみんないい」という言葉があるほどみんな違うので、それ(違う意見)を(他の人に)押し付けるのはよくないと思いました。(違いに)関係なく仲良くなるような世の中ができればうれしいです。

【ジェンダーとは】

LGBTとは、性についての分け方である。身近にもLGBTが当てはまる人がいることに、今日気が付いた。男の子っぽくふるまっているのが少し変だなと感じていたが、人にはそれぞれ違いがあって当たり前だから、これからは受け入れたい。

【ふつう】

私はLGBTに当てはまりません。でも、LGBTのGの恋愛ドラマを見るのは好きです。それは、異性同士の恋愛と比べればマイノリティーなものです。ですが、今回の学習で異性同士の恋と変わらないと思われていることに気づきました。少数派だから隠すのではなく、少数派だから表に立つのだと思いました。私は、母にこのことを言おうか迷っていたけど、少し自信ができました。私にとって、この学習はとても意味のある大切なものだと思います。「普通が変わり、今までの普通が上書きされ、より良い多様な世の中になり、多くの人があるのままでいられる世界ができればよいな」と思いました。

【ちがい】

もともと今日聞いたこと(違いのようなこと)のような子がいて、特に他の人と大差ない感じで接していたので、今日話を聞いて、違いはあっても私たちと変わらない「人」だということがよく分かった。相手のことを理解して、その人を差別の目で見ないことが大切だと思った。

【人に話す】

今日の話で、「自分に自信をもって人に話すと、一人で全部悩むよりも楽になれる。」ということがわかりました。自分は、ミュタントウェーブさんみたいに自分に自信をもって人に悩みを話せるようになりたいです。



【自分の性別】

私は、今日のお話で自分の性別がどちらか少しわからなくなりました。世界には、たくさんの性別の人がいて、その中の一つの性別が私にあるということを知りました。人を女性、男性で見るのではなく、「人を見て好きになるということが私なんじゃないか」と思いました。いろんな性別の人がいるのに、差別が起きています。差別がなく、それが当たり前の世の中になってほしいなと思いました。

【心地よい社会】

私は、3人の関係性がとてもステキだなと思いました。お互いにLGBTについて話せるようになるまで打ち解けられるってすごいと思いました。将来的には、この3人の関係のように誰もが気軽に性について話せるようになってほしいと思います。そのためには、ミュータントウェーブさんたちの活動も欠かせないと思います。LGBTは、私にとって関係のないことだと今までは思っていたけれど、一人一人の心地よい社会にするためには、「関係無いから」と思わずに、知ることが大切なのだなと思いました。

【私たちとLGBT】

私たちとLGBTは、私生活に深く関係しているなと思いました。私は「T」だなと思いました。家族に「女じゃない男!」や「女の子っぽく生きなさい」と言われます。ですが、私は私であり、他の人に決められて生きるのが嫌です。男の子の方が気が合うので仲よくしていても、女の子から嫌なことを言われます。でも、今日、教えてもらって、「自分の自由でいいんだ」と感じました。今日、教えてもらったことをいろんな人に話そうと思いました。

【ぼくはぼく、わたしはわたし】

今日の学習で、ジェンダーのことに関わらず、自分の意見を貫きたいときは、貫く。いやだなと思うときは、はっきりと「いや」と伝えることが大切だなと思いました。

【LGBT】

私は、ミュータントウェーブさんにジェンダー平等やLGBTを教えてもらって、他人と違うことは当たり前なのだと改めて感じました。私は、いつも相手に合わせた対応をしているので、自分の意見も言おうと思いました。逆に、全員が同じ意見で、同じ性格とかだと、争いは起きないけれど、なんか個性がなくてつまらないなあと思いました。だから一人一人の個性や意見を大事にし、違うからって責めずに「そういう考え方もあるのか」と認めたいです。他にも相談できる人がいることは幸運だなと思いました。

【無題のタイトル】

最初LGBTを聞いてわかるような、わからないような……。 「？」が頭の中にあっただけれど、人にいろいろな種類があること、誰一人同じ人はいないこと。そんなことで争いが起きるけど、そんなすばらしい人々が集まれば、もっとLGBTを世界に届けることができると思った。

【自由】

今日の授業で、自分に自信がもてるようになりました。本当に今まで「女らしく」と親に言われてきましたが、質問に答えていただいたおかげで、もっと自由に生きられるようになったと感じられるようになりました。LGBTQIAの理解が多くの人に伝わった気がしてうれしかったです。

【個性を認め合って生きていく】

私は、LGBTは個性の一つだと思った。女の子でもボーイッシュな子はたくさんいるし、男の子でも女の子っぽい子だっている。LGBTだって悪い意味で特別扱いしないでそれと同じように見てほしいと思った。当事者の人たちだって気遣ってくれるのはうれしいだろうけど、それが過剰な気遣いになると、やっぱり少し思うことがあるはず。LGBTが認められて、自然に関わり合える日が来てほしい。私たちがそうしていかなければと思った。

【わかったことと言いたいこと】

女の子だからこうしなきゃいけないとか、男の子だからこうしなきゃいけないとかは、ないことがわかりました。

LGBTの方々、日本だけで約1,100万人いるそうです。割合にすると8.9%です。日本で多い5つの名字(佐藤さん、鈴木さん、田中さん、伊藤さん、渡辺さん)を合わせた人口より多いそうです。

日本では、LGBTだけど、周りの人からの偏見や誤解を恐れて周りに人に話すことができない人が約8割いるそうです。LGBTの方々も含め、すべての人々が生活しやすい社会になるようにもっともっと周囲の理解が必要だと改めて思いました。